

事業区分
その他サービス

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		障害者デイサービス			所管	福祉部 障害福祉課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	昭和 5 0 年度	[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区松が谷福祉会館条例			
	事業対象	区内に住所を有し、18歳以上の心身障害者で日中活動の提供を希望し、契約を交わした者。					
	事業目的	心身障害者に対し、自立の促進、生活の質の向上等を目的として日中活動(創作的活動・社会適応訓練等)を提供をすることにより、自立を目指す。					
	事業内容	理学療法、作業療法、言語療法、外出活動、プール活動、創作活動等を実施している。					
	委託の有無	一部委託	委託内容	通所者送迎業務委託 非常勤職員健康診断			
	補助金の有無	なし					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	実施活動数	回	245	216	219	242
		成果指標	利用者数	人	18	14	15
	決算額 (単位:千円)				57,103	60,741	69,869
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			100,510	105,213	106,500
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			14,107	14,418	22,118
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			798	762	762
		総経費			115,415	120,393	129,380
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			54,387	59,622	58,025
一般財源(区負担額)			61,028	60,771	71,355		
前回評価から改善した事項	エレベーターの改修など利用環境を整え、利用者がより快適な環境で生活できるようになった。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	身体障害者の自立支援及び家族等に対する支援事業として必要性がある。また、その利用者も徐々にではあるが、増加している。				
	効率性	3	有資格者の非常勤職員の採用により、専門性はしっかりと確保しており、効果的・効率的な事業運営に努めている。				
	手段の適切性	3	利用者の重度化に伴い、活動内容の見直しなど検討課題がある。				
目的達成度	4	デイサービスの利用者が充実した生活を送れるよう、日々のサービス提供を行っている。定員20名に対し利用者は16名と推移している。今後、利用希望の対象者にサービス提供できるよう対応していく。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		
理学療法や外出活動など、利用者のニーズに応じたサービスを提供している。今後もニーズを的確に把握し、事業を継続していく必要がある。					維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	